

令和6年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立墨田中学校
校長名	小出 和正

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・1年は、全教科において昨年に引き続き正答率が全国平均を上回った。また、全教科において正答率が目標値を上回った。 ・2年は、国語、数学、英語においては昨年に引き続き、社会においては新たに、正答率が全国平均を上回った。また、同4教科において、正答率が目標値を上回った。 ・3年は、国語と数学においては昨年に引き続き、英語においては新たに、正答率が全国平均を上回った。また、同3教科において、正答率が目標値を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年は、社会においてD層+E層の出現率が27.8%と5教科中最も高い。また、達成率が72.2%と5教科中最も低い。 ・2年は、理科の正答率が53.1%で、全国平均を2.9%下回った。D層+E層の出現率は56.1%と5教科中最も高い。また、達成率が43.9%と5教科中最も低い。 ・3年は、理科の正答率が48.3%で、全国平均を2.2%下回った。D層+E層の出現率は55.7%と5教科中最も高い。また、達成率が44.4%と5教科中最も低い。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・1年のiスコアを全国平均と比較した標準スコアは52.3である。カテゴリー別では、『学級の規範意識』が55.9、『学習意欲』が53.0である。 ・2年の標準スコアは52.2である。『学級の規範意識』は57.1、『生活習慣』は54.2である。 ・3年の標準スコアは50.5である。『学級の規範意識』は54.0である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は、学力を育む要素の一つとして「心の居場所づくり」を重視した教育を推進している。その中で、各学年の『学級の絆』の標準スコアは48.6～51.0と、他のカテゴリーに比べて低く、学級間で最大10.3の差がある。これらの偏りを是正し、学校全体のスコアを改善することが課題である。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<p>○全国学力・学習状況調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の正答率は全国平均を2.9%上回った。数学の正答率は全国平均を2.5%上回った。 ・授業でICT機器を「ほぼ毎日」使用したと答えた生徒の割合は73.8%で、全国平均を42.8%上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の思考・判断・表現の正答率は28.1%で、全国平均を1.2%下回った。 ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいか」という質問に対する肯定的な回答は63.1%で、全国平均を13.1%下回った。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 基礎・基本の定着

生徒の理解度や達成度に応じたきめ細かい指導を行うため、次の取り組みを推進する。

- ❑ 少人数・習熟度別指導…………… 数学と英語における東京方式ガイドラインに基づいた指導
- ❑ タブレット端末の活用…………… ロイロノート・ミライシード・Qubena・デジタル教科書
- ❑ 墨田区学習状況調査の復習… フォローアップシート・たしかめドリル
- ❑ すみだ塾…………… 定期考査前の放課後補充教室
- ❑ 夏季補充教室…………… 夏季休業中の学習教室
- ❑ 家庭学習のてびき…………… 生徒が主体的に学習に取り組むためのアドバイス集の発行

(2) 学習意欲の向上

校内研究を活用し「墨中スタンダード（分かりやすい授業、柔軟性のある授業、協働的な学びの充実）」を基にした授業を実施する。教員相互の授業参観や意見交換等を行い、授業の質の向上に取り組む

- ・ 分かりやすい授業…………… 目標の明示・授業のまとめ、見通し、簡易な指示、ICT活用
- ・ 柔軟性のある授業…………… 情報提示の仕方、生徒の応答の仕方、生徒の取り組みの仕方
- ・ 協働的な学びの充実…………… 話し合い活動の型、一人1台端末の活用

(3) G I G Aスクール構想の推進

「すみだG I G Aスクール構想授業改善ロードマップ」を踏まえ、一人1台のタブレット端末を授業で効果的に活用し、学力の定着及び伸長を図る。また、ICT環境を活用して家庭学習を支援する。

臨時休業等で生徒が登校できない場合には、タブレット端末を活用したリモート授業の配信や、ロイロノート及びミライシード、Qubena等を活用した学習の保障を行う。

3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・「墨中スタンダード」による授業改善や学習ふりかえり期間を推進する。その上で、全教科・全学年において「全国平均正答率との差」と「D・E層の割合」の来年度目標を達成する。
- ・校内研究を通じて「魅力ある学校づくり」を推進し、全学級において意識調査の『学級の絆』のスコアが50を上回るようにする。